

■日程：2025 年 3 月 13 日（木）～3 月 15 日（土）

■ボランティア参加者数：9 名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

| 日時          | サロン実施場所               | 被災者の参加者数 |
|-------------|-----------------------|----------|
| 3 月 13 日（木） | 穴水町甲地区兜公民館            | 28 名     |
|             | 穴水町諸橋地区諸橋仮設団地         | 21 名     |
|             | 穴水町中居地区住吉公民館          | 37 名     |
|             | 輪島市町野地区金蔵集会所          | 20 名     |
| 3 月 14 日（金） | 輪島市門前地区禅の里交流館         | 24 名     |
|             | 輪島市門前地区皆月集会所          | 18 名     |
|             | 輪島市門前地区浦上公民館          | 23 名     |
|             | 穴水町志ヶ浦地区志ヶ浦コミュニティセンター | 19 名     |

■被災者の声（主なもの）

- ・仮設住宅に住んでいる人のためのサロンやと思っと思った。知ってればもっと早く来たんに！
- ・イノシシに庭を荒らされる。しし唐はイノシシよけになると聞いたけど何の効果もなかった。住んでいた頃はイノシシが出たことなんて 1 回もなかったのに、人が少なくなったからかしら。
- ・七浦で民宿をやっていた。今はできなくなってしまったけど、いつか再開したいと思っている。
- ・今年も田んぼはダメだろうな。水路も溜め池もダメ、田んぼもひび割れている。
- ・支援物資もありがたかったけど、ボランティアが来てくれる支援が本当にありがたかった。このサロンがなくなったら寂しくなるね。
- ・（作品の写真を見ながら）グループホームに勤めていて、利用者が好きなキャラクターを毛糸で編んであげたのよ。
- ・避難所にいたとき、息子が迎えに来てくれて嬉しかった
- ・震災以前からあった『浜清掃』を復活させるため具体的に動いている。
- ・以前は近くに住んでいたが、引っ越してなかなか皆に会えない。サロンに来るといっぱい話せて楽しい。ここではみんな笑っているけど家では泣いているのよ。
- ・草刈りが必要。ボランティア用の草刈り機を今年は 10 台用意した。
- ・公費解体したところにビニールハウスを建てて野菜を作るんだ。
- ・参加者の川柳より。

「ボランティア 笑顔優しさ 身に染みた」 「あったかい 心がこもった パンコーヒー」  
 「毎回の 楽器ねいろ歌に 心おどる」 「握手する 手の温かさ 忘れずに」

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・参加者のお孫さんがボランティアで参加していた。このような繋がりが増え、活動が広がっていくと良いと感じた。
- ・今回がふれあい喫茶の最終日だったが、わざわざお礼だけでもと立ち寄ってくださり、たくさんの方から何度も「また来てね」と声をかけられた。また会いに来ようと強く思った。

